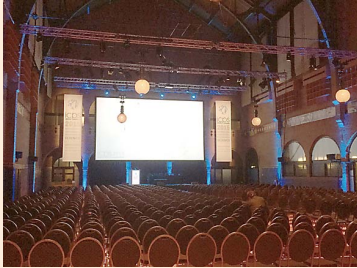


国際会議から

国際心理科学会議 (ICPS)

国際心理科学会議 (ICPS) は、心理学の国際学会ですが、認知科学、神経科学、社会学や文化人類学などの多様な関連研究領域の分野横断的な取り組みを重視しています。本年度から開催された国際学会ですが、75か国から約2,200人の研究者が参加し、規模の大きい大会となりました。



基調講演の会場



学会会場となった旧証券取引所

近年の心理学分野では、心理実験やアンケート調査などの一般的な手法のみで実施された研究のみならず、神経科学や遺伝学など多様な領域の問題意識や知見、研究手法を共有する学際的な研究が増加しつつありま

す。このような動向を踏まえ、本学会では生理学的な手法を中心に、他分野の先進的な技術を活用した研究が基調講演やシン

ポジウムを中心に発表されていました。ポスター発表では心理学よりの研究発表が中心でしたが、多様な分野の研究者が参加していたため、やはり議論の内容は従来よりも学際的な色が強い印象でした。

今回、筆者は自発的な報告を促す心理特性についてポスターでの発表を行いました。自発的な報告に対する態度を測定した心理実験の手法に関する議論とともに、自主的な報告を促進するプロセスを説明したモデルについて大脳生理学的な見地から意見交換することができ、実りの多い学会参加となりました。



北村康宏
人間科学研究部
安全心理研究室
副主任研究員

正式名称：International Convention of Psychological Science (ICPS)
 開催国：オランダ(アムステルダム)
 期間：2015/3/12-14
 主催：Association for Psychological Science
 開催頻度：未定
 次回開催予定：未定
 ホームページURL：<http://icps.psychologicalscience.org/>